8 5 0 2

2 B 0 0

拒絕理由通知書

特許出願の番号

特願2003-275036

起案日

平成15年 8月26日

特許庁審査官

郡山 順

特許出願人代理人

加藤 静富(外 2名) 様

適用条文

第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において 頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用 可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における 通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法 第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- (1)請求項1、2に対して、引用文献1
- (2)請求項3に対して、引用文献1

錘の近傍に釣糸の保護部材である中空管を設けることは引用文献2、3に記載されているように周知である。

(3)請求項4に対して、引用文献1

引用文献1には排水溝である水抜穴9が記載されている。

(4)請求項5に対して、引用文献1

引用文献1記載の遊び穴2から水が流入できると認められる。そして、胴体1は、本願発明の蓋に相当する。

(5)請求項6に対して、引用文献1

隙間を設けない錘が引用文献 4 に記載されているように、この分野において隙間を設けるか否かは当業者が適宜案出し得る設計的事項に過ぎない。

発送番号 303598 2/ 発送日 平成15年 9月 2日

- (6)請求項7、8に対して、引用文献1 係止段部を設けることは、釣りの仕掛けにおいて常道手段である。
- (7)請求項9に対して、引用文献1 より戻しを設けることはこの分野において慣用手段である。
- (8)請求項10に対して、引用文献1
- (9)請求項11に対して、引用文献5

引用文献5の基本おもりは30号、調整おもりは10号を使用し号数は自由に 決めて良いと記載されている(【0008】)。

(10)請求項12に対して、引用文献1及び6

引用文献6第3図(B)に内部筒部材内に移動自在に挿通した接続釣糸が記載されている。

(11)請求項13に対して、引用文献1及び7

テーパー状に内部筒部材を構成することは引用文献7図12に記載されている。

(12)請求項14に対して、引用文献1

内部筒部材の先端部と後端部との内端縁及び外端縁を曲面形状に曲げる点について、釣糸が角に当たると切れやすいことは周知であり、曲面を付けることで切断を防ぐことは例示するまでもなく周知の事項である。

引用文献等一覧

- 1. 実用新案登録第3041602号公報
- 2. 実願昭59-90068号(実開昭61-4578号)の願書に最初に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム
- 3. 実用新案登録第3093942号公報
- 4. 特開2001-321049号公報
- 5. 実願平5-28634号 (実開平6-81275号) の願書に最初に添付した明細書及び図面の内容を記録したCD-ROM
- 6. 実願昭50-99903号(実開昭52-14190号)の願書に最初に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム
- 7. 特開平10-94353号公報

整理番号 P15-054229

発送番号 303598 3/E 発送日 平成15年 9月 2 日

·調査した分野 IPC第7版 A01K95/00 DB名

·先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がござい ましたら下記までご連絡下さい。

特許審查第1部自然資源 郡山

TEL. 03(3581)1101 内線3236 FAX. 03(3501)0478